

報 会

ち から

静岡市相撲連盟 会長 中村修二 事務局 村越浩二 令和3年11月

静岡相撲部OBちから会 昭和30年ちから会創立 昭和39年11月初刊 会長 細倉涼太

☆第43回静岡県少年相撲選手権大会

10月24日(日) 静岡県武道館にて小学生の大会が行われました。

五年生の部 第3位 望月煌正(麻機小)

少年相撲選手権決勝トーナメント

第4位 望月煌正(麻機小)

今大会から新しく相撲教室に参加している幼児年長の笹君・大川君も大会に出場、上位入賞とはいかなかったものの来年以降に期待していきたいです。

参加役員 下村・中村武・村越・山中

☆第36回わんぱく相撲全国大会

10月31日(日) 東京両国国技館でわんぱく相撲全国大会が行われました。静岡支部からは7月の県大会予選を勝ち抜いた4年生松本衛君(牧之原市川崎小) 5年生望月煌正君(麻機小)の2名が出場

松本衛 一回戦 ○ 永井(東京代表)

二回戦 × 清水(茨城代表)

望月煌正 一回戦 ○ 直江(栃木代表)

二回戦 ○ 水野(神奈川代表)

三回戦 × 管間(鹿児島代表)

望月煌正君は三回戦敗退でしたが全国ベスト16と健闘しました。

☆第2回わんぱく相撲女子全国大会

11月14日(日) 愛知県パロマ瑞穂スポーツパーク相撲場にてわんぱく相撲女子全国大会が行われました。男子と同じように7月の県大会予選勝ち抜いた4年生杉本悠朱(静岡翔洋小) 5年生宇佐見里和(長田西小)の2名が出場

杉本悠朱 一回戦 × 片岡(高知代表)

宇佐見里和 一回戦 ○ 山本(高知代表)

二回戦 ○ 大山(鹿児島代表)

準々決勝 × 石井(東京代表)

宇佐見里和さんは準々決勝敗退でしたが全国ベスト8と健闘しました。

☆関西支部だより

関西支部支部長 富坂誠二

◎大阪府知事、大阪市長は静岡県出身者との縁が深い大阪で最初にできた地下鉄は、昭和8年に開通した南北を結ぶ御堂筋線で、これに尽力したのは当時の大阪市長関一(はじめ)氏です。関市長は静岡県西伊豆出身。市内には銅像があり、その功績が称えられ現代も市民から敬愛されています。

大阪市長にはそのほか、戦後の混乱期の復興に尽力した中井光次氏(通算13年)が居ます。この方は三島出身。大阪府知事ではいずれも戦前ですが、静岡中学の野球部草創期に活躍した柴田善三郎氏この方は磐田出身。そのほかに2名の方がいます。

☆「ちから」アーカイブス

企画吉永俊彦・渡辺 実・文岩崎安次

その4 少年選手への道筋②

前回述べた県選手権大会のことに一寸触れてみる。この年昭和三十七年は国体予選を吉原市(現富士市)で行なう予定が組まれていたが、焼津が八月の祭りに合わせやりたいと申し出て、吉原・焼津の長老間の話で変更になったという。吉原としてはせっかく予定していた大会がなくなったので、新たに選手権大会の企画を遂行することとなった。当時一般青年には県スポーツ祭と国体予選の二大会しかなく、もう一つくらいあってもいいのではないかということだったようだ。この三十七年の国体予選では静岡勢が好調で青年は吉永俊彦・渡辺実・岩崎安次が岡山国体出場を決定。新卒の加藤忠男君は一般にまわり高校の部では川上明廣君が四位という健闘振りであった。充実をはかる会長杯大会は昭和四十一年滝川文雄会長就任に伴い新設された全日本選手権方式の予選3回戦あと決勝トーナメントで行なうもので、会長のもと滝川昇副会長・渡辺実理事長の指揮により行われていく。第一回大会は高校生ながら静岡神田孝次君が青年一般を破って優勝している。そのうち高体連から「高校生が社会人に混じってやるのはいかがなものか」という意見が出され、高校生の部を併設したのである。これが現在も行われている静岡県相撲選手権大会である。さて、本論の少年相撲に入るが試合形式は団体三人制・個人戦共にトーナメントで行なうことが決定。会場は静岡駿府公園相撲場。参加チームは地元静岡五チーム、他は一支部三チームを限度とするというものである。また中学生の部も設けて行った。